

花言葉は“平和・知恵”、**黄白色**の“**オリーブの花**”が満開
5月下旬の“**開花時期**”の**天候**が、秋の収穫を**左右**！

オリーブの実の収穫にとって大変重要となるオリーブの花が市内の農園で満開となり、5月下旬ごろまで咲きつづける。米粒大の黄白色の花で、知らない人は見過ごしてしまうほど。

うきは市は耕作地放棄対策として、柿などに代わる新たな作物にオリーブを選定。2009年度から苗木代の半額を補助し植栽を奨励。現在約60戸が約10haで、約4500本を栽培。

去年は10月、11月に約550kgの実を収穫し高品質のエクストラバージンオイルを搾油。



ここ数年、九州でもオリーブの生産が増加しているが、雨の多さが栽培にとって課題。

年間降雨量がオリーブ産地の南欧で数百mm程度、小豆島で1千mm程度とされるなか、九州は2千mm程度もある。オリーブの花が咲く時期に雨が続き花粉が洗い流されたり、花自体落ちてしまったりして無事に結実するかどうかは、開花時期の降雨に左右される。

事実、うきは市内でも開花時期に雨が多かった2011年には不作となった経験をもつ。



生産者はもちろん、国産のオリーブの愛好家にとっても、月末の天気が気になるところ。



オリーブの花



オリーブの木



オリーブの実



オリーブオイル
(左、新漬け(右))

★オリーブオイル

①(うきは産 100%、180g) 4,800円、②(うきは産 100%、65g) 2,000円※(税込み)

●問い合わせ うきは市うきはブランド推進課商工振興係 Tel.0943-76-9059

編集:うきは市総務課広報係(Tel.0943-75-4980)係長・瀧内宏治、重富結人(瀧内:携帯 090-7454-6381)

※FAXを手にとられた方は、「うきは市ホームページ」掲載のカラー版を御覧ください→検索 うきはブランド通信

2017.5.24 発表/花言葉は“平和・知恵”、黄白色の“オリーブの花”が満開…月末までの天候が秋の収穫を左右